

半世紀前の役員名簿

遺族から寄贈

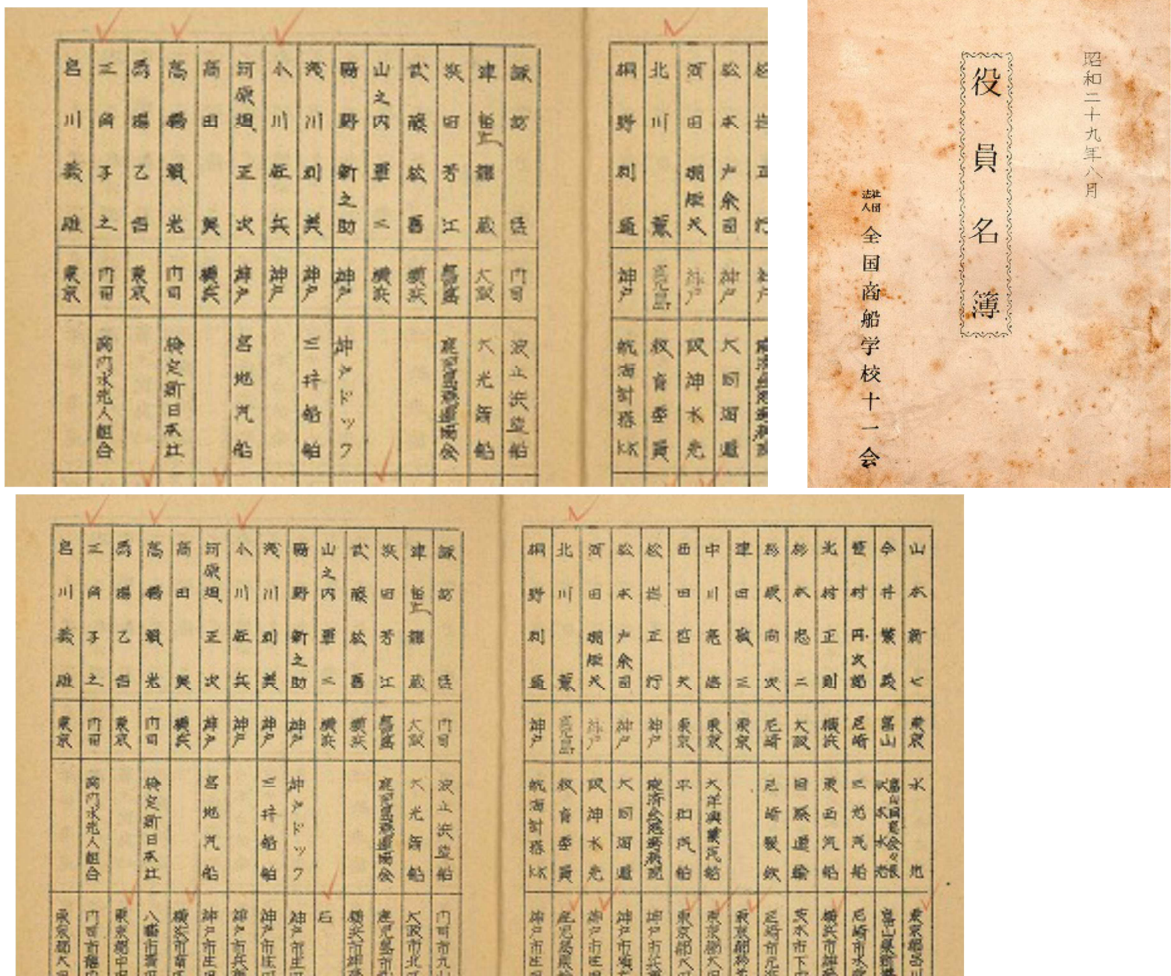
昭和29年8月時の社団法人「全国商船学校十一会」の役員名簿が祖父の遺品の中から見つかり、当協会に寄贈したい旨の連絡が7月半ばにありました。

協会としては珍しい遺品でもあり、早速遺族の方に連絡を取り、郵送して頂きました。

内容としては、会長 小山 亮、副会長 神足 徳三郎 以下常務理事 13名、理事 84名、監事 5名、評議員 141名の合計 245名の氏名、在住地、勤務先、住所に付いて記入されています。(昭和28年度末の正会員数は3,354名)

参考までに当時の会報(海国時報 第202号 B5版 98頁)の目次は

1. 巻頭言
 2. 政界の革新と海運界の発展
 3. 時言三題
 4. ユニオン・ショップ制の問題
 5. 法人制度について
 6. 問答随筆
 7. 無題
 8. 所感片々
 9. 支那海賊譚
 10. 世界とところどころ失敗回顧録
 11. 港
 12. 佐藤広政君を偲ぶ
 13. アラフラ海真珠事業の再開について
 14. NoとYesの遣い分けについて
 15. 研究(英語と米語の相異について)
 16. 海技試験問題
 17. 山下主事を迎えて
 18. 御挨拶
 19. 学校だより
 20. 同窓会便り
- 等時代を捉えた素晴らしい記事であった。



※名簿の記事の一部(個人情報に配慮し、住所部分を途中で省略)